

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動 (1983年11月～1984年4月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity

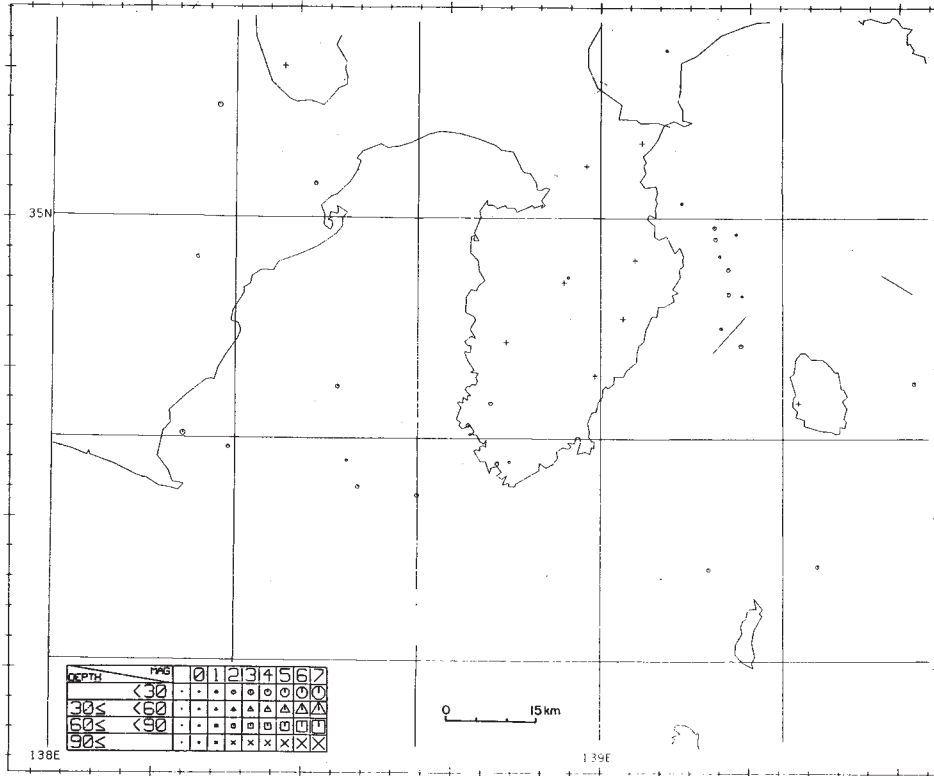
(November, 1983 - April, 1984)

東京大学地震研究所
地震予知移動観測室 (地震移動班)
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

- I) 1983年11月；伊豆半島東岸沖と駿河湾に微小地震活動が若干みられたほか目立った活動はなかった (第1図)。
- II) 1983年12月；12月30日5時ごろから伊豆大島西岸沖で群発活動がはじまり翌1984年1月中旬過ぎまで続いた。主な地震は12月30日, 18時55分, M3.3, および12月30日, 21時51分, M3.5である。このほか12月19日, 21時29分, 新島北東沖でM4.2の地震が発生した (第2図)。
- III) 1984年1月；伊豆大島西岸の活動が続いているほか, 伊豆半島南方沖で1月19日から27日にかけて群発活動があり, 17ケの地震が検知された (第3図)。
- IV) 1984年2月；新島北東沖で2月22日13時頃から2月23日06時頃にかけて群発活動があった。主な地震は2月23日0時21分, M4.0, 同日22分, M4.5である。また静岡県東部および駿河湾で若干の活動がみられた (第4図)。
- V) 1984年3月；新島西方沖で3月4日に小規模な群発活動があった。その他3月3日, 15時53分, 伊豆大島南方沖, M3.3および3月25日19時29分, 伊豆大島, M2.2の地震 (伊豆大島で震度II)が発生した (第5図)。
- VI) 1984年4月；伊豆大島西岸沖で4月22日～24日に群発地震が発生した。最大地震は, 4月22日, 13時50分, M3.3であった (第6図)。

なお, 1983年10月～1984年4月の震央分布図および移動観測班のデータ処理システムが稼動以来の1983年2月～1984年の震央分布をまとめて第7および8図に示す。

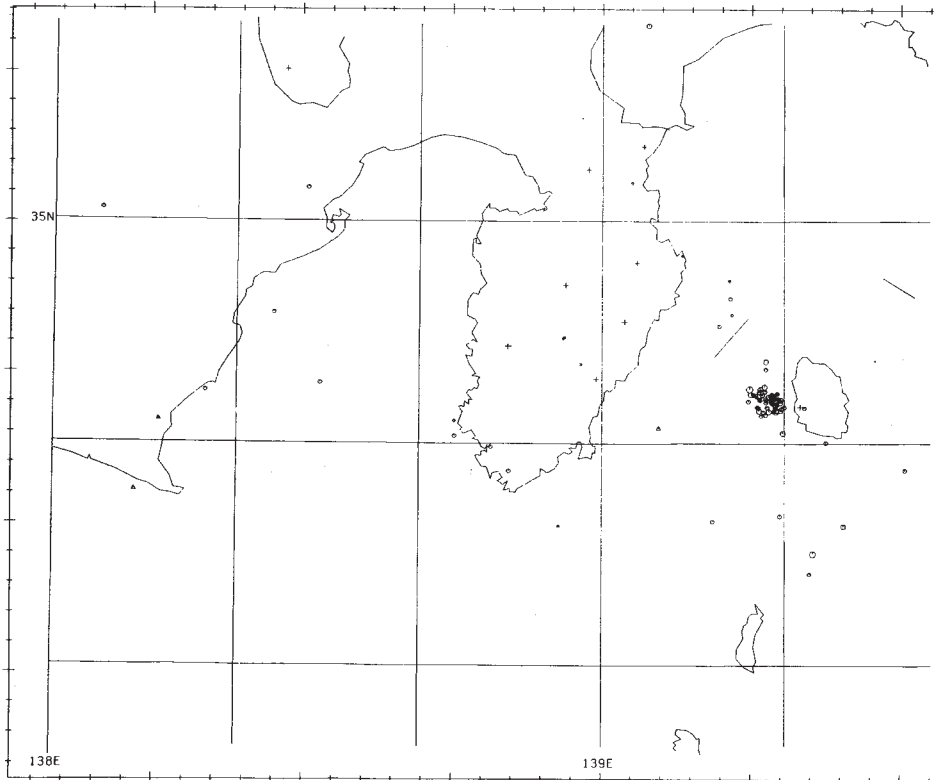
83 11 1-83 11 30 [N=29 MAG=0.0-7.5]



第1図 1983年11月の震央分布

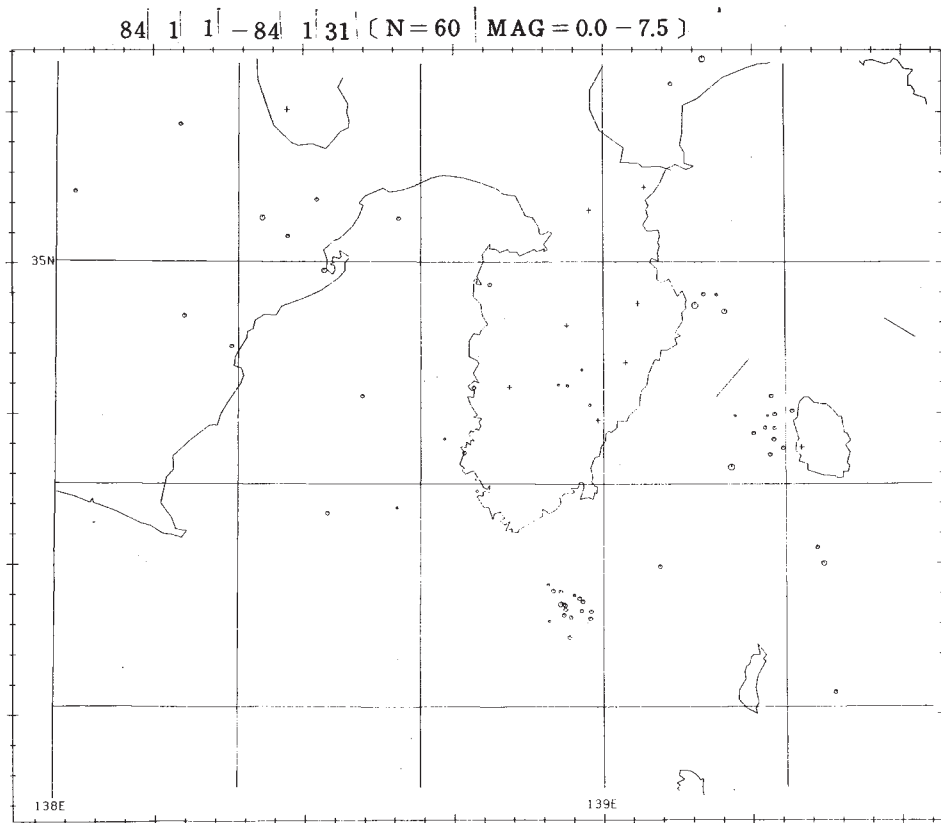
Fig. 1 Distribution of epicenters in November 1983.

83 12 1-83 12 31 [N=92 MAG=0.0-7.5]



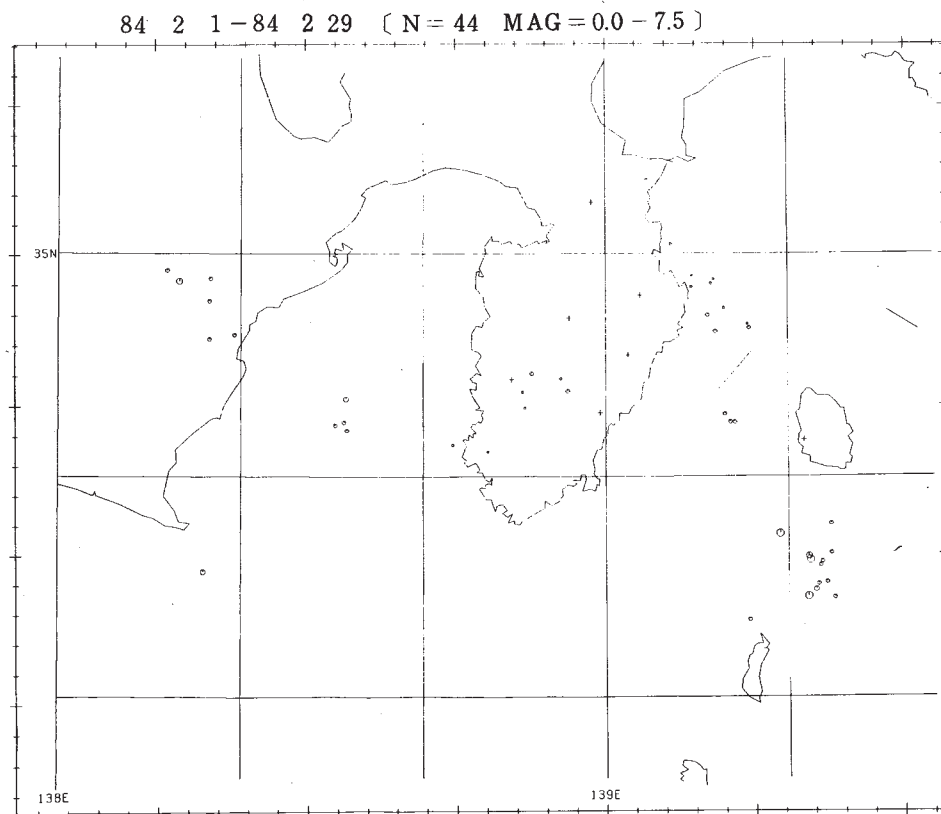
第2図 1983年12月の震央分布

Fig. 2 Distribution of epicenters in December 1983.



第3図 1984年1月の震央分布

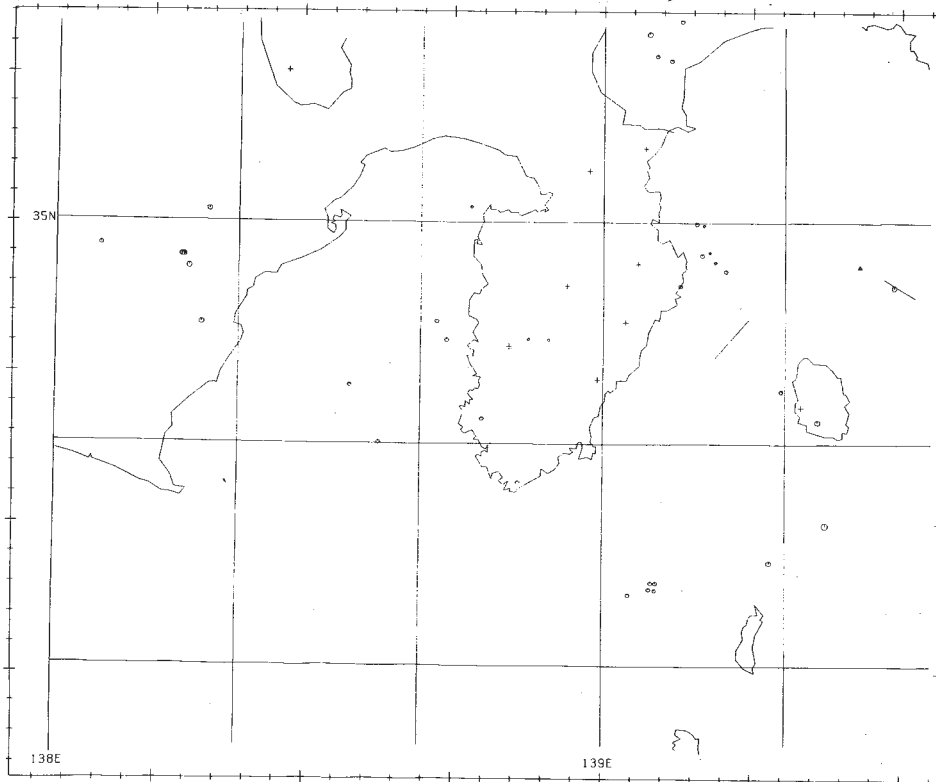
Fig. 3 Distribution of epicenters in January 1984.



第4図 1984年2月の震央分布

Fig. 4 Distribution of epicenters in February 1984.

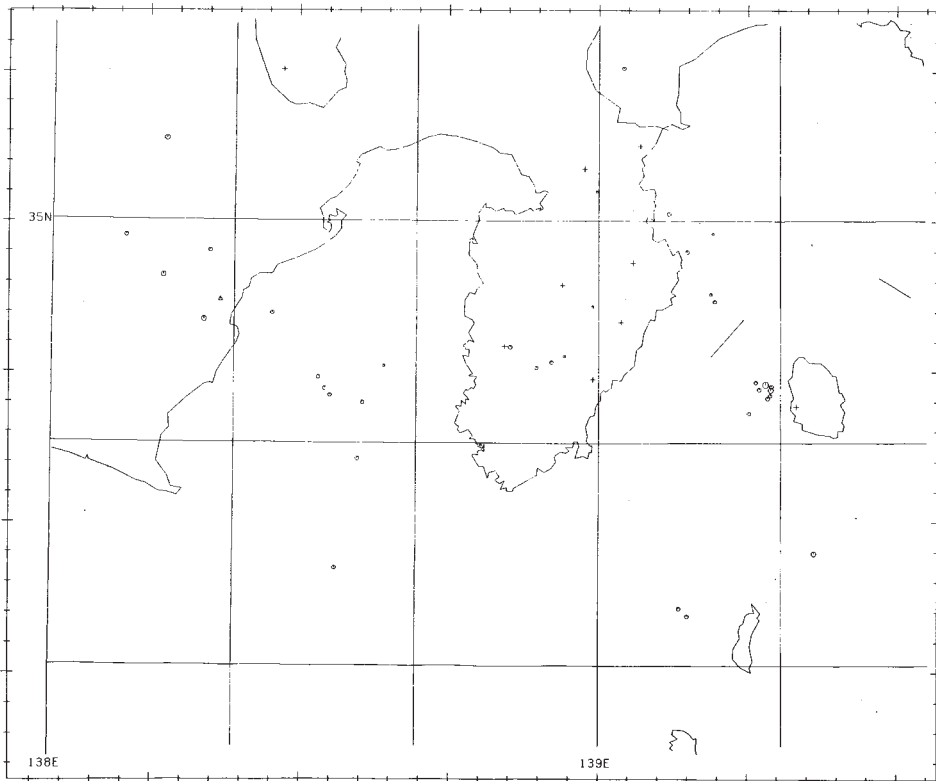
84. 3. 1 - 84. 3. 31 (N=37 MAG=0.0 - 7.5)



第5図 1984年3月の震央分布

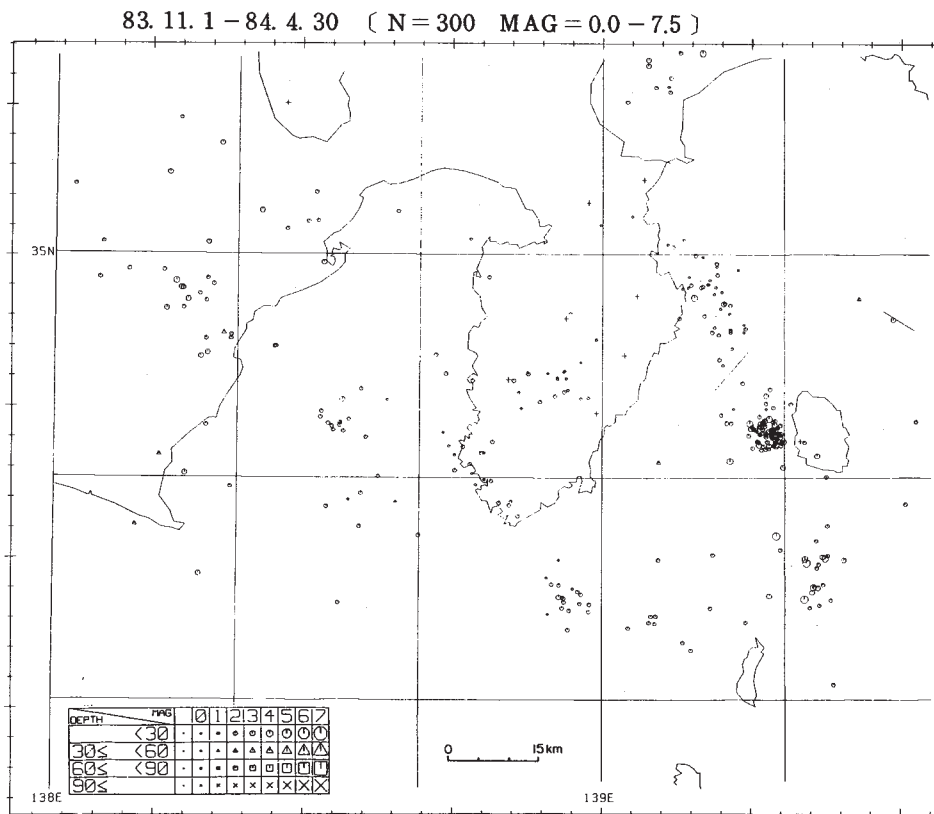
Fig. 5 Distribution of epicenters in March 1984.

84. 4. 1 - 84. 4. 30 (N=38 MAG=0.0 - 7.5)

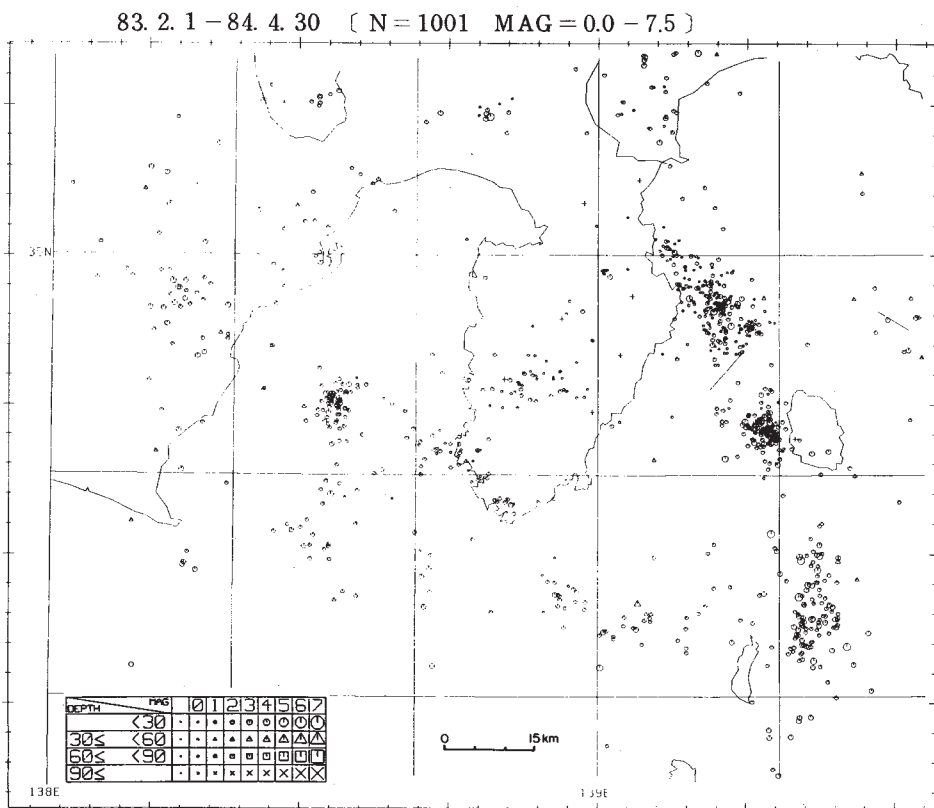


第6図 1984年4月の震央分布

Fig. 6 Distribution of epicenters in April 1984.



第7図 1983年11月～1984年4月の震央分布
 Fig. 7 Distribution of epicenters for November, 1983 - April, 1984.



第8図 1983年2月～1984年4月の震央分布
 Fig. 8 Distribution of epicenters for February, 1983 - April, 1984.